

浦幌町立博物館だより

2024(令和6)年5月号

編集・発行：浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉info@museum-urahoro.jp



浦幌町の外にある最寄り駅



左：ふるさと銀河線時代の本別駅の駅名標と、国鉄時代の駅名標。また、本別駅開業時に使われていたとされるホーム灯。いずれも本別町歴史民俗資料館所蔵。

右：尺別駅と直別駅の駅名標（釧路市立博物館所蔵）と上厚内駅の駅名標（当館所蔵）。120年前に開業した音別～浦幌間では、2017年以降、駅の廃止が相次ぎ、この3駅は現在信号場化されている。



企画展「浦幌・十勝の鉄道120年」では、本別町歴史民俗資料館、釧路市立博物館から資料をお借りして、「町外にある最寄り駅」をご紹介します。

観音トンネルより北側に展開する上浦幌地区に暮らす人々にとっては、浦幌駅よりも池北線(末期は第三セクターの北海道ちほく高原鉄道ふるさと銀河線)の本別駅が近く、身近な駅でした。

「結婚前、静内(浦幌町静内、下浦幌地区)の妻の実家へ挨拶に行くためには、本別から汽車に乗って池田へ出て、乗り換えて浦幌まで来て、駅前に一泊してから行った(栄穂のSさん)」

という話から、当時の上浦幌の交通事情がうかがえます。

尺別炭鉱は浦幌炭鉱とは山を挟んで隣接している炭鉱でした。浦幌炭鉱は独自の鉄道を保有しなかったため、「尺浦隧道」で両鉱を結び、尺別炭鉱を経由して輸送する方法をとっていました。このため、浦幌炭鉱に住む人々は隧道を通して尺別炭鉱に出、尺別鉄道を経て尺別に出て、国鉄へ乗り換えることが出来ました。

浦幌にとって、尺別は炭鉱町と釧路を結ぶ中継点でした。浦幌炭鉱閉山後、尺別炭鉱へ移った人も多く、尺別駅に思い出を持つ町民も多いです。

「直別」という地名は、直別川を挟んで釧路側、十勝側の双方に跨がるため、地元では「釧路直別」「浦幌直別」と呼称します。

直別駅は釧路直別側に設置されていましたが、浦幌直別の住民にとっても最寄り駅でした。当初は浦幌直別側の牛乳も音別へ出荷をしていたため、直別駅から牛乳缶を貨車に積んだといいます。高校への通学や直別小学校の遠足も直別駅から汽車に乗りました。

町外の駅も、浦幌の歴史にとって欠かせない存在なのです。

(浦幌町立博物館学芸員 持田誠)

新規着任職員紹介



博物館係主査 **中村 冬弥**

博物館に配属となりました中村冬弥と申します。

平成25(2013)年に浦幌町役場へ奉職してから12年が経ち、今年の4月1日付人事異動により保健福祉課から教育委員会で勤務することになりました。

博物館係は慣れないことや初めてのことばかりなので、皆様にご迷惑をおかけすることもあります。町の歴史や文化を日々勉強し、一日でも早く皆様にお伝えできるように努めますので、よろしくお願いたします。

普段は2階で事務作業をしておりますが、展示室やロビーで作業することも多いと思いますので、見かけたら気軽に声をかけて頂ければと思います。

皆様のご来館をお待ちしております。

Pick up BOOK [注目の本]

図書館から

食べ物のなぜ・不思議でわかる!



10歳からの「おいしい」科

齋藤 勝裕 著

2024年1月22日 カンゼン発行 159頁

プリンが温まると固まるのはなぜなのか、ケーキが甘いと感じるのはどうしてなのか。実は、私たちが普段口にしてる食べ物には、多くの科学の謎が隠れています。学校や研究室だけでなく、私たちの日常生活の中で身近な「食」を通して触れられる科学について、本著で親しんでみましょう。

【配架場所】

児童書からコーナー
分類 498サ

(浦幌町立図書館 司書 部田麻紗乃)



5月の博物館お知らせ

5月の連休も開館しております

ゴールデンウィーク期間中は4月30日(火)のみ休館。どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。

モニタリングサイト1000里地調査

アイヌ伝統文化作品展

4月26日(金)



5月26日(日)

10:00~18:00

場所:博物館特別展示ホール

主催:ラポロアイヌネイション 共催:浦幌町立博物館



豊北植物調査会

日時:5月4日(土) 9:00~12:00

集合:浦幌町立博物館

定員:8名(電話・メールで申込受付)

※自家用車利用の方は申込不要です。

たぶんまだ何も咲いていませんが、それを記録します。

移動博物館

知っとこ!うらほろ

青い鳥をさがそう!

日時:5月5日(日) 7:00~9:00

集合:うらほろ森林公園駐車場
(みのり館前駐車場)

講師:トリおばさん

定員:なし



幸せを運ぶ青い鳥オオルリをみんなで探します。

知っとこ!うらほろ

駆け足で浦幌を北から南まで

日時:5月11日(土) 9:30~17:00

集合:浦幌町立博物館・参加無料・昼食持参

定員:8名(電話・メールで申込受付)

新しく浦幌へ来た人向けに、午前中は上浦幌地区、午後は下浦幌地区を中心に、駆け足で町を一周します。

国際博物館の日記念講座

国際生物多様性の日記念講座

「デジタル時代の博物館」から 学びと研究のための博物館を考える

講師:木村 文
帯広畜産大学准教授

5月19日(日)
14:00~15:30

場所:博物館
入場無料

デジタル時代に、博物館における学びや研究はどのように変わっていくでしょうか。ヨーロッパ北部のリトアニア共和国を対象に実施した博物館のデジタル化研究を踏まえ、博物館の未来について解説します。

★毎年5月18日は国際博物館の日です★

マダニの多様性と生態

講師:山内健生
帯広畜産大学准教授

5月22日(水)
19:00~20:00

場所:博物館
入場無料

マダニの仲間は、世界に約1,000種、日本には約50種が知られ、種ごとに寄生生態が異なります。昨年、日本からも新種のマダニが報告されました。このようなマダニの分類と生態を通じて、生物多様性について考えます。

★毎年5月22日は国際生物多様性の日です★

入館料:無料

開館時間:10:00~18:00

バリアフリートイレ完備
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員:1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、資料調査等は事前に電話かメールにてお申し込みください。

5月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

休館日:月曜日・祝日の翌日

5月31日(金)は、資料整理休館日です。



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分
帯広駅より普通列車…約1時間
池田駅より普通列車…約30分
釧路駅より普通列車…約2時間
鉄道のご利用が便利です!

【運賃】

帯広~浦幌間 1290円(片道)

釧路~浦幌間 1680円(片道)



駐車場無料

帯広市より国道38号線約1時間
釧路市より国道38号線約1時間半
道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館
The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ:電話 015-576-2009

〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1(図書館併設・役場となり)

E-mail: info@museum-urahoro.jp / https://museum-urahoro.jp